

contents

- P2 特集 緊急！消防車両！
- P4、5 消防統計
- P6、7 あれこれ消防あらかると
- P8 火災予防運動
令和3年度採用職員紹介
消防クイズ 拍子木

特集

緊急！消防車両！
消防車・救急車の緊急走行に密着！

2021年度 全国統一防火標語

おうち時間 家族で点検 火の始末

春の火災予防運動 令和4年3月1日(火)~7日(月)



令和3年度採用 職員紹介



よろしく
お願いします

昨年12月に、岐阜県消防学校での初任教育と救急教育の科程を修了し、晴れて消防士としての一步を踏み出しました。住民の皆さんの力になれるよう、日々努力していきます。



山下 真由



大堀 健太



多田 紫苑



柳沼 旭

拍子木

みなさんこんにちは！
今回の特集「緊急！消防車両！消防車両の緊急走行に密着」は、いかがでしたか？
普段、車を運転中に、「救急車が見えたけど、いつ、どこに止まろう・・・」と焦ったり、「サイレンの音に気がつかなかった」といった経験をされた方もみえると思います。もちろんこういった経験は、私たち（機関員）が一般車両を運転する際にもあることです。
緊急走行する車両に気が付かれた際は、急停車する必要はありません。無理なく避けて停止していただければ大丈夫です!(^^)!

私たちは、安全に消防車や、救急車を走行させるため、これからも知識の習得と、技術を磨くことを続けていきます。
今後も、緊急車両の走行にご理解、ご協力をお願いします。
(編集 総務課 広報担当)

消防クイズ

たくさんのご応募をお待ちしています！

問題 津保川出張所は、昭和何年に建てられた建物でしょう？

応募資格 中濃消防組合管内(関市・美濃市)にお住まいの方はがきに、答えと住所・氏名・年齢・電話番号と、中濃消防組合や消防だよりへのご意見、ご要望を記入の上、下記までお送りください。

あて先 〒501-3906 西欠ノ下5番地
中濃消防組合消防本部 総務課

締め切り 令和4年3月18日(金) 当日消印有効
賞品 正解者の中から抽選により賞品を進呈します。

※発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



ヒント:あれこれ消防あらかると(P6.7)



緊急車両 × 一般車両のご理解 = 早く現場へ!



※実際に消防車の中から撮影



※実際の火災現場や救急現場へ向かう様子。

前方または後方から来たときの避け方

- ①左へ寄って止まる
- ②ハザードランプを点灯させる
(※状況によって活用する)

交差点または狭い道路でのポイント

- ①急な停止を避ける
- ②無理に進路を譲るのを避ける

※状況によっては、緊急車両のマイクでこちらから指示させていただく場合もあります。

緊急車両は どう避ける?

運転中にサイレンを鳴らす救急車と遭遇して、「どうしていいのかわからない」と焦った経験はないですか?
そこで、次のようにポイントをまとめてみました。

知識 × 技術 × 経験 = 緊急走行のスペシャリスト



特集 緊急! 消防車両!

消防車・救急車の緊急走行に密着

消防車・救急車の運転は だれがする?

消防車や救急車を運転できる人を、「機関員」といいます。消防車両は一般の車と違い、火災時に水を出すためのポンプや、特殊な資器材が積載されているため、あらゆる知識や運転技術が必要となります。中濃消防組合では、機関員として認められるために、一定の条件があり、例として次のようなものがあります。

- 救急車(普通自動車)**
- ①普通免許を取得し、2年以上経過している者
 - ②消防職員としての実務経験が2年以上の者
 - ③機関操作に精通している者

はしご車(大型自動車)

- ①大型免許を取得し、普通自動車免許などの取得年数と合わせて3年以上経過している者
- ②21歳以上かつ、消防職員としての実務経験が3年以上の者
- ③機関操作に精通している者

☆ちなみに

中濃消防組合全職員172人(令和3年4月1日現在)のうち、144人が大型免許を取得しており、女性職員4名も含まれています。

運転技術を磨き 知識を深める

安全に消防車両を走行させるため、若手職員を中心に、様々な訓練や講習の受講をしています。



①



②



③

- ①自動車学校での運転技能講習
- ②狭い道を想定した走行訓練
- ③救急搬送中、傷病者の容態を悪化させないため、安静に搬送する必要があります。そのため車内を揺らさないよう、ペットボトルに水を入れて倒さず走行する訓練をしています。



消防副士長 すすき とうよう
機関員 歴 5年

安全に、安心して緊急走行ができるのは、道を譲っていただけの温かい心のおかげ

火災や救急などの災害が発生した時、1分でも、1秒でも早く災害現場へ行き、消火活動や救助活動をしたいたいと思っています。私が消防車を運転し緊急走行する中で感じることは、一般の車を運転されている方が、サイレンや赤い回転灯に気がついた際、すぐに左へ寄り止まっていただけのことです。私達は、この行動のおかげで、より安全に早く現場へ向かうことができます。

地域の道路、建物をたくさん知ることが、確実に早く現場へ向かうための近道

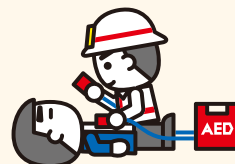
災害は、いつでもどこで起こるかわかりません。機関員には、災害が発生した場所を、出場前に確認し、すぐにその場所までのルートを考え、イメージすることが求められます。そのため、仕事からの帰り道や、休みの日を利用して、所属する消防署の管内を車や自転車でも周り、狭い道、新しい道、新しい建物などがないかを確認しています。

救急 昨年から285件増加



救急出場件数 4,335件 (前年比285件増)

- 搬送種別 急病 64%
- 搬送人員 4,034人 (317人増)
- 傷病程度 軽症 33%
- 傷病程度 中等症(入院が必要) 50%
- 傷病程度 重症以上 17%
- 一般負傷 17%
- 交通事故 7%
- ※搬送された方 うち高齢者 68%



救急出場件数 (1日平均出場件数 11.9件)

	出場件数	火災	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
関 市	3,537	27	4	241	50	12	606	4	16	2,266	311
関 地域	2,848	20	2	216	39	11	465	3	14	1,803	275
洞戸地域	110	2	1	3	4		27			65	8
板取地域	89		1	1			26			55	6
武芸川地域	240	2		10	3	1	41		2	165	16
武儀地域	177	2		10	3		35	1		123	3
上之保地域	73	1		1	1		12			55	3
美濃市	779	9	2	45	11		128	3	14	504	63
その他	19			7						9	3
合計	4,335	36	6	293	61	12	734	7	30	2,779	377

消防だよりバックナンバー



中濃消防組合では年2回、消防署の活動や火災予防に繋がる事を広く知っていただくこと、住民の皆さんからの要望に応えることを目的に、「消防だより」を発刊しています。

過去の消防だよりは、ホームページで読むことができます。ぜひご覧ください!!

こちらのQRコードから
直接みることができます!(^^)!



令和3年消防統計

火災・救急・救助

火災

昨年から11件減少!

※中濃消防組合発足以来昭和50年と並び最小件数となりました!!



地域別火災発生状況

	合計	建物	林野	車両	その他	損害額(千円)
関 市	23	16	1	1	5	74,568
関 地域	18	14		1	3	74,209
洞戸地域	2	1			1	350
板取地域						
武芸川地域	1	1				
武儀地域	1				1	9
上之保地域	1		1			
美濃市	10	5		2	3	53,796
合計	33	21	1	3	8	128,364

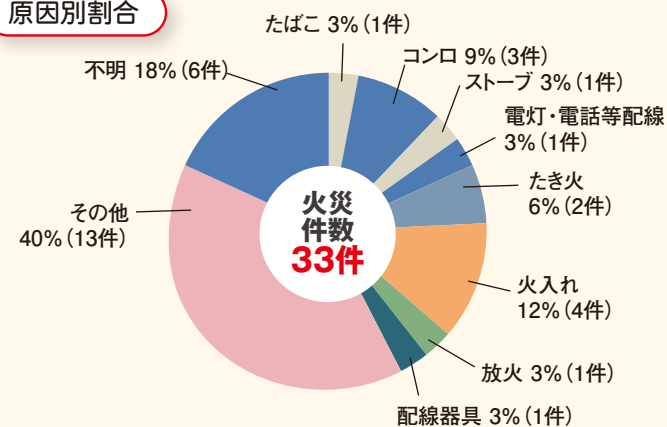
火災件数 33件 (前年比11件減)

- 建物火災 21件 (2件増)
- 林野火災 1件 (増減なし)
- 車両火災 3件 (7件減)
- その他の火災 8件 (6件減)

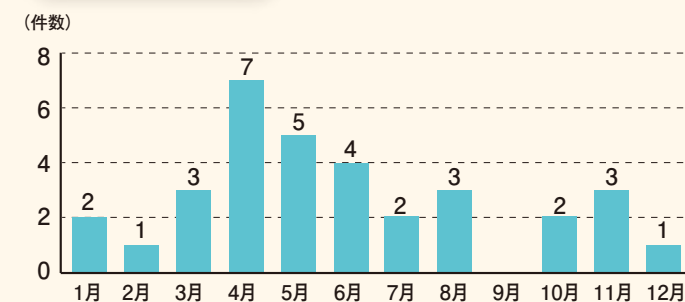
- 損害額 128,364千円 (249,138千円減)
- 死者 2人 (1人増)
- 負傷者 9人 (2人増)
- 主な出火原因

- 火入れ 4件
- コンロ 3件
- たき火 2件

原因別割合



月別火災発生件数



救助

昨年より水難救助出場件数12件減少



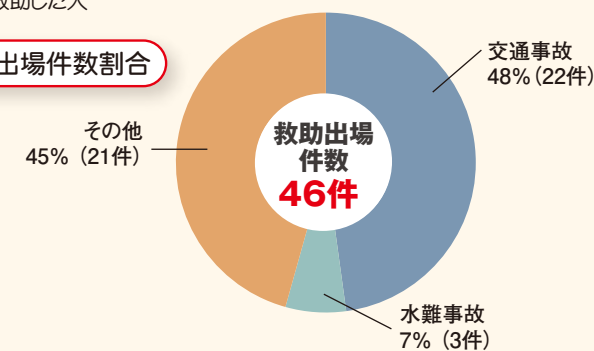
救助出場件数・活動件数

	出場件数	活動件数	交通事故	水難事故	その他
関 市	34	25	10	2	13
関 地域	25	17	7	2	8
洞戸地域	1				
板取地域	3	3			3
武芸川地域	2	2	2		
武儀地域	1	1	1		
上之保地域	2	2			2
美濃市	10	5	2	1	2
高速道路	2	1	1		
その他					
合計	46	31	13	3	15

救助出場件数 46件 (前年比6件減)

- 救助活動件数 31件 (2件増)
- ※実際に救助活動した件数
- 救助人員 35人 (7人増)
- ※救助した人

救助出場件数割合



あれこれ消防 あらかると

～各署所のできごとを紹介します～

美濃
消防署

「私たちの大事な仕事です！」

今やどこの会社にもある、仕事をする上での手順や決め事などが書かれているものといえば…そう!「マニュアル」です!

私たち消防士も、たくさんのマニュアルに囲まれて仕事をしていますが、レスキュー隊が活躍する救助現場でも、このマニュアルが活かされています。

今、私たちはこの救助マニュアルの作成・更新に取り組んでいます。

日々変わりゆく災害に対応するため、今までの現場経験や教訓を活かして、マニュアルを作成し、より良いものに更新していくことも私たちの大事な仕事なのです。

そして、完成したマニュアルをもとに日々訓練を重ね、更に今後も研究を重ねて、安全かつスピーディな人命救助につなげていきます!

皆さんが安心して暮らしてもらえるように、私たちは歩みを止めません。



関
消防署

「消防の本」

秋季火災予防運動の一環として、関市立図書館に「消防コーナー」を設けていただきました。消防コーナーには、防火、防災に関する書籍や防火ポスターを展示していただき、訪れた人に火災予防の啓発などを行うことができました。春は秋と同様に空気が乾燥し、火災の起きやすい季節です。火災を未然に防ぐため、みなさんも防火、防災に関する本を読み、知識を深めてみてはいかがでしょうか。



洞戸
出張所



「もしもの時に備えて」

今年から関市洞戸地区の自主放送TV「キウイビジョン」を通じて、消防署からも住宅用火災警報器の促進、もしもの時の救急対応方法を紹介しています。洞戸地域限定ですが皆さんも視聴する機会がありましたら参考にしてみてください。



津保川
出張所

「Before After!」

津保川出張所は昭和47年に建てられ、49年もの月日が経過しています。ズバリ、中濃消防組合の中で一番古い庁舎です!

この度、長年の任務を労い、外壁や床などの改修工事をして生まれ変わりました。これからも上之保地域の安全と一緒に守ってくれる頼もしい存在です。



西分署

「住宅用火災警報器啓発立て看板の更新」



西分署では、老朽化した住宅用火災警報器啓発立て看板を「更新」しました。

中濃地区防火協会の協力のもと、新たに鉄骨とアルミ合板で作成しました。

10年が経過した警報器は電池交換が必要です。みなさんも住宅用火災警報器を点検し維持管理に努めましょう。



武芸川
出張所

「洗面台の有効活用」



非常に狭い当出張所の洗面兼脱衣所です。

洗面所としては問題ありません。しかし、脱衣所として使うには着替えを置くなどの物置スペースがありません。

ところが…なんということでしょう!職員の作成した「すのこ」を洗面台に取り付けることで、物置スペースに早変わり。これで、出場指令を受けてもすぐに着替えることができます。こんな工夫をしながら、私たちは常に、迅速出場を考えております。



板取川
出張所

「未来の消防士！」

板取小学校の3・4年生が出張所の見学に訪れました。児童たちは一生懸命話を聞いてくれ、最後の質問コーナーでは女の子が目をキラキラ輝かせ、「どうしたら消防士になれるか。何を頑張っておくといいですか?」と質問してくれました。いつか一緒に働けることを楽しみにしています。



武儀
出張所

「ホース乾燥塔」

消防署には濡れたホースを乾燥させるための「ホース乾燥塔」があります。

武儀出張所のホース乾燥塔は古く、経年劣化により一部破損し使用禁止となっていました。職員が修繕し使えるようになりました。

消防署では一部の設備や資機材を自分たちで直して大切に使っています。

